

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	数学	科目コード	4240
シラバスコード	194A12-4240		
授業時数/週	2時間		
開講年次・学期	2年・通期		
必修/選択区分	選択必修		
担当教員	島田 健太郎		
教員の実務経験			
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

## ■科目詳細情報

授業概要	プログラムの作成において必要とされる基礎数学や、力学で必要とされる物理数学を学習する。ゲーム作りに必要な論理的思考力を養うことを目標とする。
到達目標（前期）	各種数学問題の理解と習得により数学に対するより深く広い能力の習得を目標とする。
到達目標（後期）	各種数学問題の理解と習得により数学に対するより深く広い能力の習得を目標とする。
授業方法	教科書およびプリントによる数学演習を講義によって推進します。
実践的教育の内容	
評価方法（前期）	各期期末試験と平常点による評価で、期末試験70～80% 平常点20～30%
評価方法（後期）	各期期末試験と平常点による評価で、期末試験70～80% 平常点20～30%
授業外における学修	各自の復習が重要で、さらにより多くの問題を各自の努力で挑戦することも大切です。
授業計画（前期）	第1週 文章理解・推論(1) 順位決定、個数決定を理解する。
	第2週 文章理解・推論(2) 勝敗決定・価格決定を理解する。人口問題・学年推理を理解する。
	第3週 図表・図表の読み取り(1) エネルギー・食品成分・交通手段を理解する。
	第4週 図表・図表の読み取り(2) 降水量・獲得点数・商品販売を理解する。
	第5週 集合・集合論(1) 商品の機能とデザイン・テーマ参加人数を理解する。
	第6週 集合・集合論(2) 書籍購読数を理解する。
	第7週 場合の数・順列組合せ(1) 数字の並び・人員選択を理解する。
	第8週 場合の数・順列組合せ(2) 重りの組み合わせ・参加順序を理解する。
	第9週 確率・確率の考え方(1) くじの確率・トランプ問題を理解する。
	第10週 確率・確率の考え方(2) 硬貨の組み合わせ確率を理解する。
	第11週 金銭・料金問題(1) 割引価格を理解する。
	第12週 金銭・料金問題(2) 値引き問題を理解する。
	第13週 金銭・損益算(1) 仕入れと利益を理解する。
	第14週 金銭・損益算(2) 割引価格と利益を理解する。
	第15週 金銭・分割払い 代金支払いの問題を理解する。
	第16週 作業能力・仕事算 作業分割・ニュートン算を理解する。
	第17週 速さ時間距離・物の動きと時間距離(1) 駅伝における距離時間速さを理解する。

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	速さ時間距離・物の動きと時間距離(2) 時刻表問題・目標への到達問題を理解する。
	第19週	割合・割合・比(1) ペイント消費・所属参加割合問題を理解する。
	第20週	割合・割合・比(2) 液体混合問題を理解する。
	第21週	物の値段・代金の精算(1) 複数人の出費問題を理解する。
	第22週	物の値段・代金の精算(2) 費用の清算を理解する。
	第23週	資料・資料の読み取り(1) 駐車料金問題を理解する。
	第24週	資料・資料の読み取り(2) 曜日等による認識を理解する。
	第25週	長文理解・長文の読み取り(1) データ記述の理解問題を理解する。
	第26週	長文理解・長文の読み取り(2) データからの類推を理解する。
	第27週	数・整数の推測(1) 方程式利用による解法を理解する。
	第28週	数・整数の推測(2) 四則計算の理解による解法を理解する。
	第29週	グラフ・グラフの領域(1) 一次関数の理解を理解する。
	第30週	グラフ・グラフの領域(2) 二次関数の理解・線形計画法を理解する。
	第31週	比率・物の流れにおける比率(1) 比率の応用と小数計算を理解する。
	第32週	比率・物の流れにおける比率(2) 割合いでの注意事項を理解する。
	第33週	装置・装置と回路(1) 信号の取り扱いを理解する。
	第34週	装置・装置と回路(2) 信号の組み合わせでの注意事項を理解する。
教科書・教材	「これが本当のSPI3だ！」 洋泉社：ISBN	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	授業中での習得に努力してください	